



わかやま

クビアカツヤカミキリ 対策講演会

サクラやモモなどの木に寄生し、中身を食べながら成長するクビアカツヤカミキリ。2011年に国内で初めて発見され、たった数年で日本全国に被害が拡大。大阪府では桜の立ち枯れなど被害が報告されており、和歌山県内でも昨年、生体が発見されています。わかやまの自然・農業を外來種から守るために、正しい対策方法が学べる対策講演会です。

果樹の天敵！
今すぐ
対策を！



写真提供：徳島県立農林水産総合技術支援センター

- 日時：6月15日(土)
10:00 ~ 12:30(開場 9:45)
- 場所：紀南文化会館
和歌山県田辺市新屋敷町1番地
- 参加費：無料



当日のスケジュール

昨年の開催状況

- 『クビアカツヤカミキリの被害に備えて』 むねざね樹木医・環境カウンセラー事務所 樹木医 宗實久義氏
- 『和歌山県クビアカツヤカミキリの取り組みについて』 和歌山県農林水産部果樹園芸課農業環境・鳥獣害対策室
- 農薬メーカー各社より 『登録農薬の使用及び注意点について』

